

公益社団法人都市住宅学会 2023年度事業報告 (2023年4月1日より2024年3月31日まで)

1. 総会の開催

(本部)	
2023年度通常総会を開催	11月9日
(東北支部)	
2023年度通常総会を開催	5月29日
(関東支部)	
2023年度通常総会を開催	6月2日
(中部支部)	
2023年度通常総会を開催	4月8日
(関西支部)	
2023年度通常総会を開催	4月15日
(中国・四国支部)	
2023年度通常総会を開催	4月22日
(九州支部)	
2023年度通常総会を開催	4月15日

2. 理事会及び常議員会開催

- ・理事会 1回開催
第1回理事会 2023年12月2日

3. 都市住宅学会賞等の選考

学会賞委員会により、論文賞、論説賞及び研究奨励賞、著作賞の選考を実施

4. 学会誌の発行

117号以降の刊行を準備(2023年度は未発行)

5. 第31回学術講演会の開催

- ・都市住宅学会第31回学術講演会を次のとおり開催
(1)日時:2023年12月2日(土)～3日(日)
(2)見学会:2023年12月1日(金)
名古屋市都市部の公共賃貸住宅における次の一手-UR豊成団地とミドゥムおおぞね-
(3)メインシンポジウム
2023年12月2日(土)14:00～17:00
テーマ:「攻める空き家対策」
2023年12月3日(日)
10:00～11:20 研究発表会
12:45～17:00 ワークショップ①～④

6. 本部及び各支部によるシンポジウム等開催

(本部)
秋の全国大会表彰式
2023年12月2日(土)13:00～13:45

メインシンポジウム
2023年12月2日(土)14:00～17:00

テーマ:「攻める空き家対策」

- (東北支部)
1. 東北支部主催・共催のセミナー等の開催
・東北支部会員の学術交流の場として、日本都市計画学会東北支部、日本マンション学会東北支部等の関連学会、国土交通省東北地方整備局、地域のまちづくり組織等との支部レベルでの連携を深め、支部会員を含む地域の方々を対象とする講演会等を実施することを目指し、日常的に各団体と情報交換等を実施した。
・3月8日に、支部会員と日本マンション学会東北支部との交流会を実施し、研究・活動内容の相互報告を行うとともに、今後の勉強会等における連携の方向性について合意した。
 2. 都市住宅関係の情報交流の活発化
・各県の都市住宅関係の情報交換の場(WEB会議を含む)を持つ取り組みを継続した。例えば、マンション管理支援ネットワークせんだい・みやぎや、それを支援する宮城県、仙台市などとの情報共有をいただいている。また、東日本大震災からの復興及び余震(福島県沖の地震等)からの復旧に資するため都市住宅の側面における情報交流と地域貢献のための活動については、日本建築家協会東北支部宮城地域会が主催する復興を議論する場の「みやぎボイス2023」(9月2日開催)を依頼に基づき後援した。
 3. 研究活動の活性化
・支部会員が実施する千葉県我孫子ビレッジにおける高経年大規模分譲団地の再生取り組みに係る現地調査、及び岩手県紫波町及び山形県鶴岡市におけるまちづくり等に係る研究にあたっての交通費の補助を実施した。
- (関東支部)
- ・関東支部交流研究会
ウズベキスタンの伝統建築物・文化調査を実施
2024年3月20日(水)-26日(火)
・見学会の開催
URまちとくらしのミュージアムを視察(参加者27名)
2024年3月6日(水)
- (中部支部)
- ・講演会
○8月4日(金)18:00～20:00 オンライン(@椋山女学院大学)※講師事情で、急遽リアル開催からオンライン開催に変更
<テーマ> 住宅における建築情報学的アプローチ
<講師>
・池田靖史氏 東京大学工学系研究科建築学専攻 特任教授
<参加者> 学生他現地30名、Zoom8名

○7月28日(木)対面(於:日本特殊陶業市民会館 第2会

議室)

<テーマ> 愛知県内のマンション管理施策～管理適正化の推進について

<講師>

・土屋 雄大 愛知県建築局公共建築部住宅計画課

<参加者> 13名

<概要>

・老朽化し、管理不全となった集合住宅が増大すると、現在の戸建の空き家問題の比ではない外部不経済が生じるおそれが懸念され、国がマンション管理適正化法の制定・改正により、適正な維持管理を促す施策を実施

・2021年度に愛知県が実施した県内マンション管理実態調査の結果を基に、マンションの建築状況や愛知県内マンションの管理状況について、その特徴などを説明

・マンション管理適正化のための施策展開として、全県的な取組（「マンション管理推進協議会」の取組）や、各地方公共団体（県・市）の取組（「マンション管理適正化推進計画」の作成、「管理計画認定制度」の運用）を説明

○ 3月21日（木）対面（於：日本特殊陶業市民会館 第2会議室）

<テーマ> 高齢者と住宅市場～“金融ジェロントロジー”から考える高齢者居住

<講師>

・上山 仁恵 名古屋学院大学経済学部教授

<参加者> 7名

<概要>

・日本は世界に類を見ない超高齢化社会に突入し、認知機能の低下が経済行動に与える影響力が大きくなっており、「金融ジェロントロジー」の重要性が増加

・高齢者の心身機能と住宅関連サービスニーズ、障害要因などについて、住宅金融支援機構の共同研究の結果を踏まえ、最新の研究成果を説明

・住宅関連サービスニーズについては、心身機能の低下が見られる高齢者ほど住宅市場への参入意向が高いこと、阻害要因については、住まいの不具合等があっても改善できない理由として、資金的な理由、心身的な理由が大きな阻害要因であることを調査結果として述べた。

（関西支部）

1. 講演会・シンポジウム等

【総会記念フォーラム】「私の資産をまちの資源に 取り組み事例報告と実現に向けて意見交換会」

4月15日（土）14時～17時 於：独立行政法人都市再生機構 西日本支社 会議室

【趣旨説明】

研究委員会の趣旨・活動報告

・岡 絵理子（関西大学）

【基調講演】

「建物とエリアとオーナーのリノベーション」

・岸本千佳さま（株式会社アッドスパイス 代表取締役）

【話題提供】

事例1 「二代目オーナーのためのビンテージ物件活用術」

・岡 絵理子（関西大学）

事例2 「シャッターを開けて気付いた、空間のチカラと

所有者の思い」

・荻巣 友貴（生駒市役所）

事例3 「空き家・空き地を活用した地域共生の拠点づくり」

・神吉 優美（奈良県立大学）

事例4 「エリアの魅力をアップする、お宝物件の育て方」

・相馬美津子（尼崎市役所）

【パネルディスカッション】

「私の資産をまちの資源に」の実現にむけて

ファシリテーター：生川慶一郎（京都美術工芸大学）

パネリスト：岡 絵理子（関西大学）、荻巣 友貴（生駒市役所）、神吉 優美（奈良県立大学）、相馬美津子（尼崎市役所）

コメンテーター：岸本千佳さま（株式会社アッドスパイス 代表取締役）

参加費 無料

参加人数 42名

【見学会】

4月15日（土）

12時10分～13時20分 「健康・医療・介護を体験できるモデルルーム」の見学と上階からまちづくりの協議が進む森之宮地区を俯瞰見学する会

参加人数 10名

9月21日（木）

14時00分～17時00分 「千里ニュータウンオープンアクセス新規団地型分譲集合住宅視察会（6団地）

参加人数 3名

9月23日（土・祝）

13時30分～18時 「ヨリドコ大正メイキン+大正のつぼん視察と、まちのくらしをめぐる」 見学会

参加人数 7名

11月11日（土）港区八幡屋まちあるき

14時～17時「都心近郊エリアの空き家活用における不動産コーディネーターの役割とは」

セミナー+見学会

参加人数 22名

12月17日（日）今熊野防災まちづくり拠点など視察

14時～16時「みんなが安心して暮らせる坂のまち、空き家と防災のまちづくり」セミナー+見学会

参加人数 33名

【2023学生研究発表交流会】

日 時：9月30日（土）14時05分～17時

会 場：大阪梅田ツインタワーズ・サウス UR 都市機構 西日本支社 オフィス内

参 加：27名（発表学生：10名）

【全国大会】

公益社団法人都市住宅学会 全国大会ワークショップ（関西支部）

日 時：12月3日（日）12:45～14:45

方 法：名城大学天白キャンパス

「地域まちづくりにおける 3 公連携—地方住宅供給公社の役割を考える—」

【パネリスト】

松岡浩二（愛知県住宅供給公社 公社住宅推進室 企画戦略グループ）

神吉竜一（NPO 法人神戸まちづくり研究所）

生川慶一郎（京都美術工芸大学 建築学部 建築学科 教授）

【コメンテーター】

三浦研（京都大学大学院工学研究科・教授）

高井宏之（名城大学 理工学部 建築学科 教授）

【コーディネーター】

安枝英俊（兵庫県立大学環境人間学部・教授）

（中国・四国支部）

・講演会

期日：2023年4月22日（土）15時30分～17時

方式：オンラインによる遠隔講演会

テーマ：『日貫集落の古民家を改修した宿「日貫一日」の運営方法』

趣旨説明：上田恭嗣支部長（ノートルダム清心女子大学名誉教授）

講 師：細田智久（島根大学総合理工学部教授）

・研究・活動報告会

方 式：オンラインによる報告発表会

期日：2024年 2月 15日（木）15：00～17：00

開催方法：オンライン

報告・発表内容

・報告1 竹下 仁哉（広島工業大学工学部建築工学科）
GISを用いた低未利用地の発生要因の分析 ～広島市古江地区における考察～

・報告2 郡司島 宏美（愛媛大学大学院理工学研究科）
工学的な視点で行う地域協働型PBL演習の取り組み

・報告3 成清 仁士（ノートルダム清心女子大学）
まちで次世代を育てる学びの拠点と仕組みづくり ～倉敷市中心市街地における活動報告～

・報告4 前田 眞（愛媛大学社会連携推進機構）
小規模多機能自治への挑戦 ～愛媛県西予市での取り組み～

・視察研修

期日：2023年 10月 7日（土）～8日（日）

場所：島根県大田市大森町 及び 邑智郡邑南町

主な内容：

・大田市大森銀山伝統的建造物群保存地区の視察
案内：生田光晴（大田市教育委員会 石見銀山課 建造物係 係長）

・日貫一日の視察

案内：細田智久（島根大学 教授）

参加者：5名（会員4名、非会員1名）

（九州支部）

・支部総会記念企画「斜面住宅地のまちづくり—八幡東区枝光地区の取り組みを中心に—」

日 時：2023年 4月 15日（土）13：00～17：00

会 場：枝光市民センター 学習室4（研究会会場）

プログラム：

（見学会）13:00～15:00

(1)八幡東区高見地区（住宅市街地総合開発事業／2015年都市住宅学会業績賞）

(2)八幡東区枝光一区（レモンロード、空き地を活用した共同菜園、老朽空家群）

(3)八幡東区枝光二区（お出かけ交通事業、アイアンシアター）

（研究会）15:30～17:00

(1)枝光地区のまちづくり活動

志賀 勉 氏（九州大学大学院人間環境学研究院 准教授）

宮地 久男 氏（枝光第二自治区会長）

(2)北九州市の空家対策

岩淵 耕平 氏（北九州市建築都市局都市再生推進部空き家活用推進課 空き家活用係長）

(3)長崎市南山手地区の空地活用

鮫島 和夫 氏（長崎すまい・まちづくりトラスト理事長）

（懇親会）17:45～19:30

参加人数 24名（会員10名、一般14名）

・都市住宅学会九州支部優秀学生賞

募集期間 2024年 2月 14日～2月 25日

審査結果 ①修士論文部門 最優秀賞該当なし、優秀賞2名

②卒業論文部門 最優秀賞該当なし、優秀賞10名

7. 学術的研究活動の活性化

学際的研究活動をさらに活性化するため、都市住宅研究センターにおける自主研究を実施するとともに、各支部における会員増の促進を図ること等を通じて各支部活動の支援を行った。

8. 関係学会等との連絡等

都市住宅に関する学術的研究の進捗普及を図るため、内外の関係学会等との連絡及び協力を行った。

本年度も「学術交流に関する覚書」を締結した韓国住居学会との交流を継続した。

9. 調査研究の受託について

昨年度に引き続き、都市住宅学関連の団体からの調査受託を行い、各調査委員会を設置して調査研究を実施した。

10. 本部及び各支部による委員会等活動

（本部）

・総務企画委員会（2回開催）

第 148 回 2023 年 8 月 24 日 (Zoom)

第 149 回 2023 年 10 月 18 日 (Zoom)

・編集委員会（未開催）

・学会賞委員会（3 回開催）

第 94 回 2023 年 7 月 6 日 (Zoom)

第 95 回 2023 年 8 月 24 日 (Zoom)

第 96 回 2023 年 10 月 20 日 (Zoom)

・業績賞委員会（1 回開催）

第 35 回 2023 年 4 月 19 日 (Zoom)

(関東支部)

- ・関東支部 常議員会
- 第 1 回常議員会 2023 年 8 月 1 日
- 第 2 回常議員会 2023 年 12 月 19 日
- 第 3 回常議員会 2024 年 2 月 23 日 (メール審議)
- 第 4 回常議員会 2024 年 3 月 18 日

(中部支部)

- ・中部支部 常議員会 (2 回開催)
- 2023年 4月 8日 (土) 名城大学 第1回常議員会
- 2024年 2月20日 (火) 名古屋大学・Zoom第2回常議員会
- ・中部支部 幹事会 (7 回開催)
- 2023年 5月16日 (火) 名古屋大学・Zoom 第1回幹事会・大会実行委員会
- 2023年 6月12日 (月) 名古屋大学・Zoom 第2回幹事会・大会実行委員会
- 2023年 7月10日 (月) 名古屋大学・Zoom 第3回幹事会・大会実行委員会
- 2023年 9月 5日 (火) 名古屋大学・Zoom 第4回幹事会・大会実行委員会
- 2023年10月10日 (火) 名城大学・Zoom 第5回幹事会・大会実行委員会
- 2023年11月14日 (火) 名城大学・Zoom 第6回幹事会・大会実行委員会
- 2024年 1月 15日 (月) えん名古屋JRセントラルタワーズ店 第7回幹事会

・住宅市場研究会

(1) 郊外住宅地部会

【委員：海道清信 (部会長)、河崎典夫、村上心、浦山益郎】

可児市における団地交流懇談会活動について報告します。会のメンバーは13名で5年目の活動をすすめました。可児市内の住宅団地で、団地生活の安心とつながりを高め、コミュニティの活性化をはかるために、取り組みの情報交換、経験交流、要望のとりまとめや調査研究、先進地視察、学習会や講演会の開催、イベントなどを行っています。

具体的には下記：

- ① 可児市のまちづくり活動助成金を得ました。4月から2月まで計9回の運営委員会を、毎回10名前後の参加で各団地集会所を順に会場として開催しました。各団地における活動の交流や意見交換をしました。テーマとしては、移動支援・足の確保と公共交通、防災活動、若者や子どもたちといった次世代を巻き込んだまちづくり活動、自治会役員の負担軽減、地球環境問題・エコライフなど。
- ② 4月に可児市役所の担当部課と意見交換会を実施しました。
- ③ 可児市内の住宅団地で、独立した自治会活動を行っている27団地、27自治会にアンケート調査を実施し、全自治会から回答を得て報告書としてまとめました。調査結果の報告と各団地での交流のため、2月23日に広見地区センターで「団地まちづくりフォーラムー住み続けられる団地に向けてー」を開催しました。
- ④ 「まちづくり広場・東海2023」(主催：日本建築学会東海支部都市計画委員会、名古屋都市センター11階・ま

ちづくり広場、2024年1月10日～28日)に、団地交流懇談会として、2枚のパネルを作成・展示しました。

⑤ 活動成果も活かして、11月26日に多治見市・市民自治研究会で「人口減少時代のまちづくりー郊外都市と住宅団地のいまとこれからー」と題して、海道清信が講演しました。

なお、同会のホームページで活動を紹介しています：

<https://kanidanchi.web.fc2.com/>

(2) 住宅再生部会

【委員：村上心 (部会長)、川野紀江 (幹事)、研究者・行政・民間15名程度】

住宅再生に関する一般公開の講演会を企画・実施した。

(3) 公共住宅部会

【委員：松山明 (部会長)、竹内政宣 (幹事)、研究者・行政・民間20名程度】

○7月28日 (木) 対面 (於：日本特殊陶業市民会館 第2会議室)

<テーマ> 愛知県内のマンション管理施策～管理適正化の推進について

○3月21日 (木) 対面 (於：日本特殊陶業市民会館 第2会議室)

<テーマ> 高齢者と住宅市場～“金融ジェロントロジー”から考える高齢者居住

(4) 住宅リフォーム産業部会

【委員：高井宏之 (部会長)、小川、小野、大崎、尾崎、谷村、他4名】

活動なし

(関西支部)

・関西支部 常議員会 (7 回開催)

2023年 第1回 5月16日 (火) ZoomによるWeb会議

第2回 7月6日 (木) 同上

第3回 8月9日 (水) 同上

第4回 9月20日 (水) 同上

第5回 12月13日 (水) 同上

2024年 第6回 1月29日 (月) 同上

第7回 3月 11日 (月) 同上

[研究委員会の設置状況]

2023年度は3つの研究委員会が活動を継続、2つの研究委員会が発足

- ・団地における3公連携研究委員会
- ・集合住宅における私有公開空間研究委員会
- ・都心近郊エリアにおける鉄道沿線まちづくり研究委員会
- ・高経年分譲団地における再生・活性フロー研究委員会
- ・都市の縮小過程研究委員会

【団地における3公連携研究委員会】

2023年

7月24日 (月) 全国大会 ワークショップ打合せ

11月20日 (月) 全国大会 ワークショップ打合せ (愛知県公社)

11月24日 (金) 全国大会 ワークショップ打合せ (兵庫県公社)

12月3日 (日) 2023年度 都市住宅学会 全国大会 ワークショップ

地域まちづくりにおける3公連携ー地方住宅供給公社の役割を考えるー開催

【集合住宅における私有公開空間研究委員会】

2023年

7月27日（木）関係者で打ち合わせ

9月21日（木）千里ニュータウンの阪急阪神不動産マンション「ジオシリーズ」の屋外空間視察

【都心近郊エリアにおける鉄道沿線まちづくり研究委員会】

2023年

第1回 5月22日（月） 18：30～ 研究会 @都市活力研究所（大阪市北区大深町3-1）

第2回 8月21日（月） 18：30～ 研究会 @都市活力研究所（大阪市北区大深町3-1）

第3回 11月11日（土） 14：00～17：00 セミナー @大阪市立港近隣センター 集会室4

（大阪市港区八幡屋1-4-20）
「不動産コーディネーター」の役割～側バイサイドリアルターの取組事例から

話題提供 西村匡史さま

セミナー+八幡屋界隈の街歩き見学会

参加人数 22名

第4回 11月13日（月） 17:00～ 研究会 @都市活力研究所（大阪市北区大深町3-1）

第5回 12月17日（日） 14:00～16:00 セミナー @元今熊野小学校本館二階

作法室（京都市東山区今熊野南日吉町27-3）

・講演

「今熊野学区における空き家対策の取組」石井 良之 様

「今熊野学区における自主防災会の取組」樋口 博紀 様

「ルーミー図書館と不動産事業の取組」小原 亜紗子 様

・パネルディスカッション

「空き家と防災のまちづくりが生み出す地域の魅力、新しい価値とは？」

上記講演者+コーディネーター 生川 慶一郎

参加人数 33名

【高経年分譲団地における再生・活性フロー研究委員会】

2023年

第1回 9月22日（金）19：00～ ズーム

初回顔合わせ、テーマ議論、情報提供（明舞団地内分譲団地のリノベーション事例等）

2024年

第2回 1月18日（木）19：00～ ズーム

テーマ議論、情報提供（京都の分譲団地の状況等）

【都市の縮小過程研究委員会】

2024年

第1回 3月5日（火）19時～ zoom

顔合わせ、研究委員会の運営方針について確認

（中国・四国支部）

・中国・四国支部 常議会（7回開催）

第1回 常議員会 2023年4月4日（ZoomによるWeb会議）

第2回 常議員会 2023年4月22日（ZoomによるWeb会議）

第3回 常議員会 2023年7月4日（ZoomによるWeb会議）

第4回 常議員会 2023年8月9日（ZoomによるWeb会議）

第5回 常議員会 2023年9月6日（ZoomによるWeb会議）

第6回 常議員会 2023年11月15日（ZoomによるWeb会議）

第7回 常議員会 2024年1月29日（ZoomによるWeb会議）

（九州支部）

(1)常議員会

第1回 常議員会 2023年 4月 15日

第2回 常議員会 2024年 3月 8日

(2)常議員通信

第1回通信 2023年 4月 12日

第2回通信 2023年 11月 29日

第3回通信 2024年 1月 19日

第4回通信 2024年 1月 29日

第5回通信 2024年 2月 6日

第6回通信 2024年 2月 7日

第7回通信 2024年 2月 28日

第8回通信 2024年 3月 8日

(3)学生表彰委員会

第1回学生表彰委員会 2024年 3月8日

以上

事業報告書附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項として記載すべき事項は、特にありません。

以上

都市住宅学会・2023年度貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科目	2023年度	2022年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	46,691	47,714	△ 1,023
普通・郵便預貯金	5,990,079	9,484,440	△ 3,494,361
定期預金	15,116,470	15,116,470	0
未収金	6,859,753	6,760,260	99,493
前払金	0	0	0
立替金	13,970	0	13,970
流動資産合計	28,026,963	31,408,884	△ 3,381,921
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	30,368,125	30,368,125	0
基本財産合計	30,368,125	30,368,125	0
(2) 特定資産			
定期預金	45,126,259	45,126,259	0
特定資産合計	45,126,259	45,126,259	0
固定資産合計	75,494,384	75,494,384	0
資産合計	103,521,347	106,903,268	△ 3,381,921
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,662,653	3,258,056	△ 595,403
前受金	0	302,463	△ 302,463
預り金	422,668	408,989	13,679
流動負債合計	3,085,321	3,969,508	△ 884,187
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,085,321	3,969,508	△ 884,187
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	0	0	0
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	100,436,026	102,933,760	△ 2,497,734
(うち基本財産への充当額)	(30,368,125)	(30,368,125)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(57,126,259)	(45,126,259)	(12,000,000)
正味財産合計	100,436,026	102,933,760	△ 2,497,734
負債及び正味財産合計	103,521,347	106,903,268	△ 3,381,921

都市住宅学会・2023年度正味財産増減計算書
2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	2023年度	2022年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の分			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	605	605	0
② 特定資産運用益(利息収入)			
定期預金利息収入	640	1,086	△ 446
③ 受取入金	15,000	7,000	8,000
入金収入	15,000	7,000	8,000
④ 会費収入	3,565,748	2,816,000	749,748
正会員・準会員	2,520,748	901,000	1,619,748
賛助会員	1,045,000	1,915,000	△ 870,000
⑤ 事業収入	1,842,513	1,382,680	459,833
研究受託収入	0	583,440	△ 583,440
事務受託収入	260,000	260,000	0
支部研究受託収入	645,430	539,240	106,190
支部交付金	937,083	0	937,083
⑥ 受取補助金等	0	0	0
補助金等収入	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0
⑦ 受取寄付金	0	0	0
指定寄付金	0	0	0
一般寄付金	0	0	0
⑧ 雑収益	1,226,091	1,686,539	△ 460,448
受取利息	444	90	354
雑収入	1,225,647	1,686,449	△ 460,802
経常収益計	6,650,597	5,893,910	756,687
(2) 経常費用			
① 事業費支出	6,364,680	9,423,889	△ 3,059,209
給与手当	2,293,168	2,849,920	△ 556,752
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	0	104,299	△ 104,299
会議費	50,498	10,080	40,418
旅費交通費	148,935	200,379	△ 51,444
通信運搬費	429,500	343,209	86,291
消耗品費	94,493	61,866	32,627
印刷製本費	64,174	44,733	19,441
論文集発行費	0	705,762	△ 705,762
賃借料	1,147,642	1,240,791	△ 93,149
諸謝金	72,774	1,418,176	△ 1,345,402
租税公課	28,350	374,430	△ 346,080
研究委託費	655,958	377,468	278,490
事務委託費	292,600	292,600	0
秋季全国大会費	500,000	700,000	△ 200,000
シンポジウム費	185,334	504,930	△ 319,596
研究成果公開促進費	0	0	0
基盤研究費(間接経費)	0	0	0
国際交流費	180,000	162,414	17,586
事業費予備費	50,000	0	50,000
図書購入費	0	0	0
雑費	171,254	32,833	138,421
② 管理費支出	2,783,651	2,887,198	△ 103,547
給与手当	982,786	1,221,394	△ 238,608
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	0	44,700	△ 44,700
会議費	21,642	4,320	17,322
旅費交通費	63,829	85,877	△ 22,048
通信運搬費	184,071	147,090	36,981
消耗品費	40,497	26,514	13,983
印刷製本費	16,612	18,233	△ 1,621
賃借料	491,846	531,768	△ 39,922
諸謝金	0	0	0
租税公課	12,150	160,470	△ 148,320
研究委託費	281,125	161,772	119,353
事務委託費	125,400	125,400	0
総務費	490,765	345,041	145,724
図書購入費	0	0	0
雑費	70,489	14,621	55,868
雑損	2,439	0	2,439
経常費用計	9,148,331	12,311,087	△ 3,162,756
当期経常増減額	△ 2,497,734	△ 6,417,177	3,919,443
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,497,734	△ 6,417,177	3,919,443
一般正味財産期首残高	102,933,760	109,350,937	△ 6,417,177
一般正味財産期末残高	100,436,026	102,933,760	△ 2,497,734
II 指定正味財産増減の部			
1. 受取寄付金	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	100,436,026	102,933,760	△ 2,497,734

都市住宅学会・2023年度正味財産増減計算書(内訳表)
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:円)

科目 大科目 中科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の分				
(1) 経常収益				
①基本財産運用収入				
基本財産利息収入	605	0	0	605
②特定資産運用益(利息収入)				
定期預金利息収入	0	640	0	640
③受取入会金	10,500	4,500	0	15,000
入会金収入	10,500	4,500	0	15,000
④会費収入	1,961,161	1,604,587	0	3,565,748
正会員・準会員	1,386,411	1,134,337	0	2,520,748
賛助会員	574,750	470,250	0	1,045,000
⑤事業収入	1,289,759	552,754	0	1,842,513
研究受託収入	0	0	0	0
事務受託収入	182,000	78,000		260,000
支部研究受託収入	451,801	193,629		645,430
支部交付金	655,958	281,125	0	937,083
⑥受取補助金等	0	0	0	0
補助金等収入	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	0
⑦受取寄付金	0	0	0	0
指定寄付金	0	0	0	0
一般寄付金	0	0	0	0
⑧雑収益	858,264	367,827	0	1,226,091
受取利息	311	133		444
雑収入	857,953	367,694	0	1,225,647
経常収益計	4,120,289	2,530,308	0	6,650,597
(2) 経常費用				
①事業費支出	6,364,680	0	0	6,364,680
給与手当	2,293,168	0	0	2,293,168
臨時雇賃金	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	50,498	0	0	50,498
旅費交通費	148,935	0	0	148,935
通信運搬費	429,500	0	0	429,500
消耗品費	94,493	0	0	94,493
印刷製本費	64,174	0	0	64,174
論文集発行費	0	0	0	0
賃借料	1,147,642	0	0	1,147,642
諸謝金	72,774	0	0	72,774
租税公課	28,350	0	0	28,350
研究委託費	655,958	0	0	655,958
事務委託費	292,600	0	0	292,600
秋季全国大会費	500,000	0	0	500,000
シンポジウム費	185,334	0	0	185,334
研究成果公開促進費	0	0	0	0
基礎研究費(間接経費)	0	0	0	0
国際交流費	180,000	0	0	180,000
事業費予備費	50,000	0	0	50,000
図書購入費	0	0	0	0
雑費	171,254	0	0	171,254
②管理費支出	0	2,783,651	0	2,783,651
給与手当	0	982,786	0	982,786
臨時雇賃金	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	0	21,642	0	21,642
旅費交通費	0	63,829	0	63,829
通信運搬費	0	184,071	0	184,071
消耗品費	0	40,497	0	40,497
印刷製本費	0	16,612	0	16,612
賃借料	0	491,846	0	491,846
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	0	12,150	0	12,150
研究委託費	0	281,125		281,125
事務委託費	0	125,400		125,400
総務費	0	490,765		490,765
図書購入費	0	0		0
雑費	0	70,489		70,489
雑損	0	2,439	0	2,439
経常費用計	6,364,680	2,783,651	0	9,148,331
当期経常増減額	△ 2,244,391	△ 253,343	0	△ 2,497,734
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,244,391	△ 253,343	0	△ 2,497,734
一般正味財産期首残高	36,208,542	66,725,219	0	102,933,760
一般正味財産期末残高	33,964,151	66,471,875	0	100,436,026
II 指定正味財産増減の部				
1. 受取寄付金	0	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高				
	33,964,151	66,471,875	0	100,436,026

都市住宅学会・財務諸表に対する注記

2024年3月31日現在

公益社団法人都市住宅学会

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提が適切であるかどうかを総合的に評価した結果、貸借対照表において、単独で又は複合して継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しません。

2. 重要な会計方針

平成20年度基準を採用しております。

(1)消費税等の会計処理

税込み方式

(2)支部運転資金の流動資産化

2013年度の公益社団法人移行に伴い、従来、特定資産としていた支部の運転資金を流動資産に移行したため、前期繰越収支差額(流動資産の期首残高)に計上済み。

3. 会計方針の変更

2013年度決算から平成20年度会計基準を採用しました。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,368,125	0	0	30,368,125
小計	30,368,125	0	0	30,368,125
特定資産				
運営基金	45,126,259	0	0	45,126,259
小計	45,126,259	0	0	45,126,259
合計	75,494,384	0	0	75,494,384

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,368,125	(0)	(30,368,125)	(0)
小計	30,368,125	0	30,368,125	0
特定資産				
運営基金	45,126,259	(0)	(45,126,259)	(0)
小計	45,126,259	0	(45,126,259)	(0)
合計	75,494,384	0	(75,494,384)	0

6. 担保に供している資産

ありません。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次の通りである

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	6,859,753	0	6,859,753
立替金	13,970	0	13,970
合計	6,873,723	0	6,873,723

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当ありません。

9. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当ありません。

10. 関連当事者との取引内容

ありません。

11. 重要な後発事象

ありません。

都市住宅学会・附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の対する注記4に記載をしているので、内容を省略する。

2. 引当金の明細

該当ありません。

財 産 目 録
2024年3月31日現在

科 目	内 訳	合計
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		(21,153,240)
現金		46,691
ゆうちょ銀行	千代田区飯田橋郵便局（振替）	1,327,042
	千代田区飯田橋郵便局（普通）	28,592
普通預金	三菱UFJ銀行麹町支店	1,679,118
	みずほ銀行麹町支店	75,000
	三井住友銀行麹町支店	270,942
	三菱UFJ信託銀行本店	12,344
	七十七銀行本店営業部	92,458
	三菱UFJ銀行栄町支店	364,165
	りそな銀行北浜支店	758,791
	みずほ銀行広島支店	881,507
	西日本シティ銀行箱崎支店	500,120
定期預金	千代田区飯田橋郵便局（定期）	100,000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	12,000,000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	3,016,470
未収金		(6,859,753)
未収金	その他	5,622,650
	関東支部 事務管理費	300,000
	関東支部 差額	20
	受託研究費	937,083
前払金		0
立替金		13,970
仮払金		0
流動資産合計		28,026,963
2 固定資産		
基本財産		(30,368,125)
定期預金	みずほ銀行麹町支店定期預金	10,105,542
	三井住友銀行麹町支店定期預金	10,137,865
	三菱UFJ信託銀行本店定期預金	10,124,718
特定資産		(45,126,259)
定期預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店定期預金	45,126,259
固定資産合計		75,494,384
資産合計		103,521,347
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		(2,662,653)
	その他事業費	250,000
	その他事業費	1,100,000
	その他事業費	40,000
	その他事業費	22,000
	その他事業費	133,570
	その他事業費	180,000
	その他事業費	937,083
前受金	年会費	0
預り金	源泉所得税等	(422,668)
	関東支部預り金	374,674
		47,994
流動負債合計		3,085,321
負債合計		3,085,321
正味財産		100,436,026

監査報告書

公益社団法人都市住宅学会
会長 高田光雄 殿

2024年 11月 8日 (←日付記入をお願いします)

監 事 (井出 多加子) (←ご氏名の記入をお願いします)

私は、公益社団法人都市住宅学会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の事業及び会計について監査を実施しました。
その結果につき、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。
また、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

2. 監査の結果

2. 1 事業監査の結果

(1) 当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は認められません。

(2) 事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

2. 2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して当学会の決算報告書に係る財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

以上

>> _____

>>

>> 監査報告書

>>

>>

>>

>>

>>

>> 公益社団法人都市住宅学会

>>

>> 会長 高田光雄 殿

>>

>>

>>

>> 2024年11月21日 (←日付記入をお願いします)

>>

>>

>>

>>

>>

>>

>>

>> 監事 (室田昌子) (←ご氏名の記入をお願いします)

>>

>>

>>

>>

>>

>> 私は、公益社団法人都市住宅学会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の

>>

>> 事業及び会計について監査を実施しました。

>>

>> その結果につき、次のとおり報告します。

>>

>>

>>

>> 1. 監査方法の概要

>>

>> 監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。

>>

>> また、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

>>

>>

>>

>> 2. 監査の結果

>>

>> 2. 1 事業監査の結果

>>

>> (1) 当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は認められません。

>>

>>

>>

>>

>>

>>

>> (2) 事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

>> 2. 2 会計監査の結果

>>

>> 決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して当学会の決算報告書に係る財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

>>

>>

>>

>> 以上

>>

>>

>> _____